

令和8年度 滋賀県介護支援専門員連絡協議会会員研修

「情報提供&意見交換会 ～ICT 活用とケアマネジメントの倫理について～」

目 的：ICT の進展により、ケアマネジメント業務の効率化や情報共有の促進、支援の質の向上が期待される一方、個人情報の保護や情報管理、AI 等を活用する際の適切な判断など、倫理的な配慮が求められています。

本研修では、ICT 活用に関する最新の動向や実践事例を学ぶとともに、ケアマネジメントにおける倫理的課題について理解を深めます。また、参加者同士の意見交換を通じて、多様な考え方や実践上の課題を共有し、ICT を適切かつ効果的に活用するための視点を養うことを目的とします。

1. 日 時 令和8年11月27日（金） 13:30～16:30（受付 13:00～）

2. 会 場 長寿社会福祉センター 第1研修室
滋賀県草津市笠山7丁目8-138

3. 主 催 滋賀県介護支援専門員連絡協議会

4. 受講対象者 滋賀県介護支援専門員連絡協議会 会員
滋賀県内に住所又は勤務先を有する介護支援専門員

5. 定 員 会場受講 50名
Web 受講 100名

6. 講 師 次田芳尚氏
NPO 法人タダカヨ 常務理事
株式会社 279 代表取締役

7.開催方法（いずれかの方法によりご参加ください）

1) 研修会場	2) ZOOM を使用した Web 配信
■会場：長寿社会福祉センター第1研修室 ■定員：50名 ■資料は、入金確認後、メールでデータを送付します。 必ずご自身で印刷、もしくは会場で資料が確認できる形でお持ち下さい。 当日、会場では紙ベースでの資料は用意しておりません。 どうしてもやむを得ない場合のみ、1 頁につき20円を徴収いたします。	■事業所やご自宅から参加いただけます。 ■定員：100名 ①機器の準備 お一人1アドレスの登録となります。参加者を確認しますので、カメラ付きのパソコンをお一人1台ご用意ください。 有線 LAN での接続をお勧めします。事業所等から参加される方は、相談室等一人になれる環境からご参加ください。スマートフォンでの参加はご遠慮ください。 ②接続確認 ご利用の端末に「ZOOM」アプリ（無料）をダウンロードして下さい。 事前接続テストをご希望の方は、研修当日30分前に ZOOM に接続し、その旨お伝えください。 ③研修会開催日 開催日までに ZOOM の招待メールと資料をメールで送付いたします。 資料は入金確認後、メールでお送りします。

8.受講料および資料代

研修会場・ZOOMを使用したWeb配信	受講料	(資料代含む)
	県協議会会員	0円
	非会員	0円

9.受講証明書

今回受講証明書の発行はございません。

10.イベントペイ について

領収証について
今回受講料は発生しません。

11.その他

- ①駐車スペースには限りがあります。できる限り公共交通機関をご利用下さい。会場受講の方には、駐車場の案内を別途いたします。
- ②天候等による研修の中止等の案内は、滋賀県介護支援専門員連絡協議会ホームページに掲載します。受講者ご自身でご確認ください。

【受講申込方法】

※PCのブラウザにURLを入力して頂くか、二次元コードをPC又はスマートフォンで読み取って受講申し込みを行ってください。
お申込は①か②いずれかよりお願いします。

- ① https://eventpay.jp/event_info?shop_code=5929374422517646&EventCode=P239697514

②



上記方法での受講申込ができない場合は、下記お問合せ先までご連絡ください。
受講申込みは先着順です。受講決定の連絡は致しません。定員を超えた時など受講して頂けない場合にのみ連絡します。

★参加申し込み締切 令和8年11月21日(土)

お問い合わせ先

滋賀県介護支援専門員連絡協議会 事務局

〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138 滋賀県立長寿社会福祉センター内

TEL 077-567-4550 FAX 077-567-**3906**

E-mail info@shiga-caremana.jp



講師紹介

つくだ よしなお
次田 芳尚 氏

株式会社 279 代表取締役
NPO 法人「タダカヨ」 理事

日本福祉教育専門学校卒業後、社会福祉法人が運営する在宅介護支援センターのソーシャルワーカーに。その初任給で当時最先端だった Windows 95 搭載のパソコンを購入した。職場の業務改善プロジェクトへの参加をきっかけに、「ICT 化」と「業務改善」が自身のライフワークに。老健の相談員などを経て 35 歳で独立し、コンサルタントとして事業所の支援をスタートさせる。2021 年 4 月に株式会社 279(つなぐ)を設立し、テレワーク型の居宅介護支援事業所の運営を開始。現在、同社代表取締役のほか、介護現場の IT 活用を支援する NPO 法人「タダカヨ」の理事なども務める。

在宅介護支援センター、介護老人保健施設、指定介護老人保健施設、ケアハウス、グループ広報企画室を経て独立、在宅療養支援診療所の立ち上げから運営、多くの小規模多機能居宅介護やサービス付き高齢者住宅等の立ち上げから運営のサポートを生産性向上・職員メンバーの心理的安全性を担保を軸に行ってきた。一方では、介護ベンダーの顧問的立場で、新しいシステムの企画から要件定義、センサーやナースコール、業務支援ツールなどとの連携の企画・アライアンスを行う。

2021年より「ケアマネジャーの働き方改革」「テレマネ」をテーマに、札幌市で居宅介護支援事業所を運営している。任意団体カイゴと働くを考える会に所属して企業向けの介護離職防止活動の支援を行っている。自身の経験から ISO9001 の組織作りと ICT 活用の促進した生産性向上サポートが得意。